

フィットネスクラブに向けた靴デバイスによる運動促進及び業務補助システム開発プロジェクト

企画書

更新日

2020/7/7

更新者

田村和也

## 企画名

「フィットネスクラブに向けた靴デバイスによる運動促進及び業務補助システム開発プロジェクト」

## プロジェクトの概要

フィットネスクラブをクライアントとした、オンラインで会員に運動を促進・指導者に情報を提供するための靴型デバイス及び、スマートフォンアプリのシステム開発を行うプロジェクトである。

## プロジェクトの背景

現在、コロナウイルスにより、「3密」となってしまうフィットネスクラブは、売り上げを落としている。それに伴いインストラクターの仕事も減ってしまっている。また、「Withコロナ」より、新たな変革が求められている。

それに対して、「オンラインフィットネス」という形式が、密を避けられるために出回り始めている。しかし現状の形では、自宅内ではしか指導ができず、自宅内では行える運動も、静かに行えるものに限られている。だからこそ遠慮なく体を動かせる、室外で指導を行えるシステムが必要である。以上より、当プロジェクトを立ち上げる。

## プロジェクトの目的

フィットネスクラブのインストラクターがオンラインにて、室外での運動指導等の業務を支援するシステム及びデバイスの開発。

## 企画の目標

利用者の運動状態を足から収集し、リアルタイムでインストラクターに情報を伝え、直接指導を行える。また、それらを補助する成果物の作成を目標とする。

具体的には下記の機能を有する成果物とする。

>リアルタイムで、インストラクターの指導を受けられる機能

- ・インストラクターによるコース（主に距離）の提案
- ・自動でコース設定
- ・靴で利用者の走っているデータを収集（ペースなど）
- ・スマホを見ずにランニング等に集中するため、靴でナビゲーション
- ・収集したデータをもとに、利用者の成績（結果）を表示

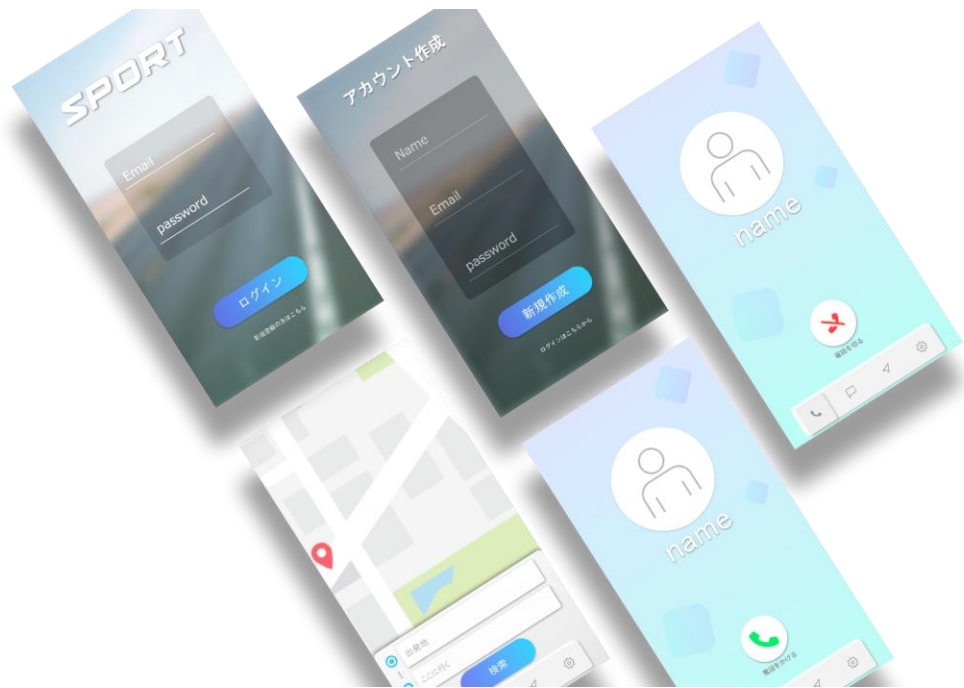
>指導時間外の日常動作時に受けられる機能

- ・簡単な外出時の運動量（時間、距離など）を測定

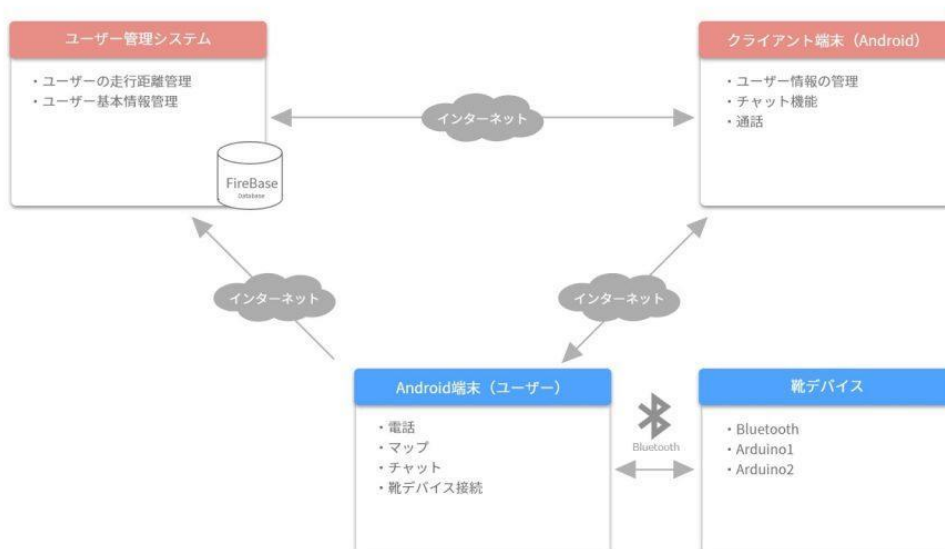
例：コンビニに行く、ごみ捨てに行く

- ・上記のデータを収集しインストラクターに伝え、指導時に最適な運動を指示することができる
- ・靴によるナビ機能
- ・成績（結果）からポイントが加算され、そのポイントに応じて称号が付与、などのモチベーション維持機能

## 画面イメージ



## システム構成図



## プロジェクト期間とマイルストーン

プロジェクトの期間は2020年4月1日～2020年12月12日である。

要約されたマイルストーンは以下の通りである。

中間発表（6月17日）

プロジェクト演習Dの成果報告（7月の春学期最終回か1週間前）

秋学期開始（9月16日）

プロジェクト演習合同成果発表会（12月12日）

## プロジェクトの要約コスト

プロジェクトの予算は、2410万円となる。そのうちコンティンジェンシー予算は必要コストの30%、723万円である。

詳細は別途WBSのコスト欄を参照のこと。

## プロジェクトにおけるステークホルダー一覧

以下ステークホルダー一覧である。

・ベンダー

プロジェクトマネージャー：田村和也

デザイナー：新家弘輝

プログラマー：稲垣誠・寺島樹・松井祐希・宮本華帆

・クライアント

フィットネスクラブ

・エンドユーザー

フィットネスクラブ利用者

## プロジェクトの実施体制

このプロジェクトでの役割は以下の表のとおりである。

氏名	役割
田村和也	プロジェクトマネージャー
新家弘輝	デザイナー
稲垣誠	プログラマー
寺島樹	プログラマー
松井祐希	プログラマー
宮本華帆	プログラマー